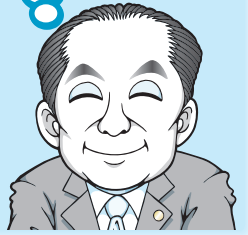


町長の一言



水戸周辺市町村長会議

県央地域首長懇話会と称して、第2回目の会議が7月中旬に開催されました。水戸市を中心とした9市町村（水戸、笠間、ひたちなか、那珂、小美玉、茨城、大洗、城里、東海）の首長が構成する会議なので、最初は広域合併の前触れかと早とちりした人もいたようですが、社会経済状況の変化や地方財政状況が厳しさを増す中で、単独の自治体がすべてを完結していくには、非常に困難な状況になってきており、これらを広域の中で連携・協力しながら進めて行こうと開催しているわけです。

今回は茨城空港、常陸那珂港・大洗港、大強度陽子加速器施設（J-PARC）高速道路網が話題になり、観光客誘致などで連携を図っていくことを決定しました。

第2回懇話会では、環境に配慮した公共交通体系を確立するため、つくばエクスプレスの県央地域までの延伸や在来線の活用によりCO₂の削減を目指すことや、観光客を誘致するため、各市町村の特性を活かせるような体験メニューを構築して行っているのかなど、活発な意見が交わされ、私も「水戸北スマートIC」のフルインターチェンジ化等を提言してきました。

ところで、水戸北スマートICから東京行きの高速バスが発着するようになりましたが、意外と利用者が少ないという話を聞きました。数年前から城里発の高速バス運行をバス会社に提案してきましたが、乗降客数に不安があると言われたきた経緯もあり、是非このバス停を利用して欲しいと思っているところです。

文芸しるさと

俳句



用水路藻の花なびき流されず
山崎 正行
分蘖や夏蝶もつれながら消ゆ
飯田 勇一
子と歩く向日葵迷路日の射せり
仲田 まちゑ
落語会開け放たれし寺緑
中野 千賀子
水郷や浴衣姿の橋めぐり
森 静江
砂風に吹かれ玫瑰実の赤し
鯉 潤 寿美恵
夏の菊父の居さうな庭に立つ
竹内 幸子
夏鶯声のかすれて山下る
いそべ きよ
梅雨の旅房総半島真つ平
飯村 昭子
梅雨晴れの竹山に竹触るる音
高橋 芦江
みんなの今日は励ましとも聞こえ
今瀬 多代美
ねじ花に刈払ひ機の迫りけり
田所 厚子
一帆なき水平線に夏の雲
飯村 愛子
踏めば水吐き出す芝生梅青葉
瀬谷 博子
梅落とし八十路の夫婦の日の仕事
岩下 金司
雨の中高き祠へ鎌切れし
田口 勝元

短歌



幾方の単位の命を失ひし中国
四川の大地震痛まし
杉山 みちこ
孫息らの結婚式の招待状受くる事なき亡き夫憶ふ
宮本 ふみ江
長野市を聖火リレーが駆け抜ける三千人の警備のもとに
所 美恵子
踏まれても抜かれても立ちのぼる雑草の強さに倣ふ初夏の草ぬく
青柳 京子
雨の中夢のごとくにアヤマ咲くあといくばくのいのち美し
山形 式妙
合併にて町となれども心にはいつも緑なす村名があり
渡辺 千紗子
光園公「万歳藤」と愛でし花悠々と咲きつぎテレビに映る
秋山 愛子
光園公の愛でし藤の花房が画面に揺るる香き世を経る
大森 久子
再逢へると思ひ見送る娘の車見えなくなるまで門に立ちをり
佐川 あや
子庭辺に真白きつづじ咲き盛り明るさ増して夕空に映ゆ
阿良山 ウメノ
梅雨つづき峰の緑は色冴えて清し流れに映りて美し
仲田 こう
新聞の朝一番に見るところお悔み欄をめぐらせつき
富田 欽子
三夜尊昔なつかし行き見ればあじさいの花色とりどり
岩下 美知野
さらさらと流るる小川にクレソンの白き小さな花は揺れおり
岩下 通子

川柳



懐かしき在りし日忍ぶ父母の顔我九十に早やなりたるに
市川 義子
突風は狂えるごとく通りすぐ葉うら返しつ森はざわめく
枝 不美
われなりに成すべき事を成しとげし充足感あれど寂しさをよぶ
片見 和枝
純白の「孔雀サボテン」の花咲きぬ広げし白き羽根もて舞ふや
川上 千代子
ホトトギス鳴き渡り行きし朝やけの青葉がくれにうの花におう
島 愛子
義務づけにてもみらマークを貼りし夫後部座席のベルト促す
多田 志保子
独り居もいつしかなれて夜の長しテレビ・読書にて心を遣りぬ
坪井 きよ子
先生の役なる孫が指揮をとおり園児役の我が歌をうたいぬ
萩谷 登喜子
ここまでが生まれし村の見納めよ八十六年農に生き来し
富田 佐智子
農上がり今日も生かされいやす風呂おせつかい出しては孫に無視をされ
青木 新三郎
夫婦酒ジャズを歌って惚れなおす
永井 英陽
夏空に光りかがやく火花かな
中島 芳春
皿洗う音で女房の機嫌知り
山本 隆荘